

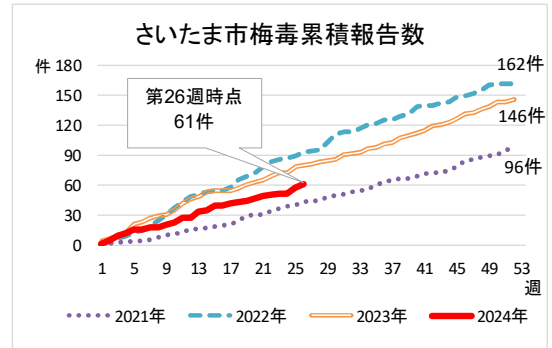
## さいたま市梅毒情報(速報)

市内医療機関から報告があった梅毒の発生情報をまとめたものです。

### ①報告数の推移

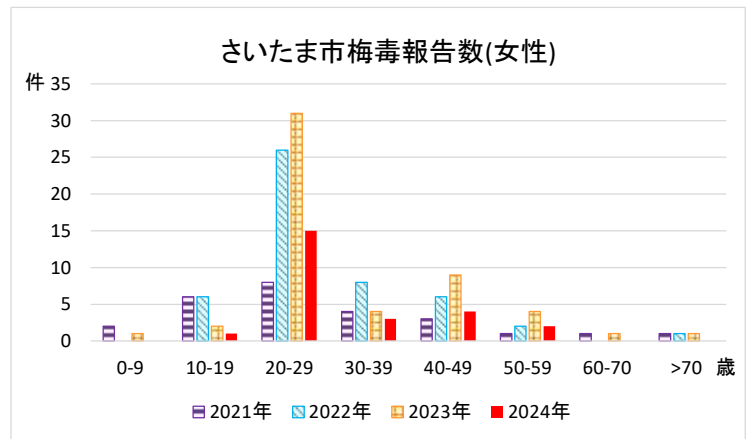
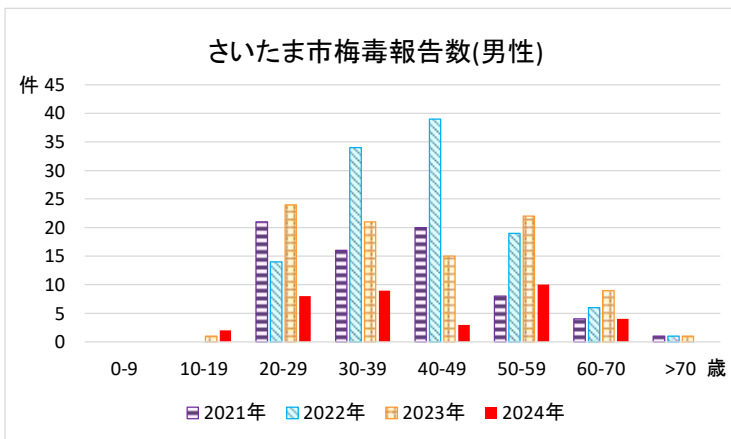
2021年1月1日から2024年6月30日までの報告件数の推移を右のグラフに示しました。

さいたま市で過去最高の報告数となった2022年、過去2番目に多い報告数であった2023年と比較して、2024年6月30日までの報告数の推移は緩やかな傾向です。



### ②男女別・年代別さいたま市梅毒報告数

①報告数の推移を男女別・年代別にグラフに示したものです。



### ③感染経路・直近6か月以内の性風俗産業の従事歴および利用歴(2024年1月1日から6月30日まで)

		男(n=36)		女(n=25)		
		報告数	割合	報告数	割合	
感染経路	性行為感染 (推定・確定)	異性間	22	61%	21	84%
		同性間	4	11%	0	0%
		異性・同性間	0	0%	0	0%
		異性・同性不明	5	14%	2	8%
	不明	5	14%	2	8%	
性風俗産業従事・利用の有無	有	14	39%	8	32%	
	無	10	28%	12	48%	
	不明	7	19%	3	12%	
	空欄	5	14%	2	8%	

2021年1月1日からの年代別さいたま市梅毒報告数は、男性では20歳代～60歳代まで幅広い年齢層からの報告があるのに対し、女性では20歳代が多い傾向が続いています。2024年の感染経路では男女共に性行為感染(異性間)が最多です。性風俗産業の従事・利用の有無は男性では有が39%、無が28%、女性では有が32%、無が48%です。これらは国立感染症研究所における「日本の梅毒症例の動向について」に示されている傾向と同様です。

参考: [国立感染症研究所「日本の梅毒症例の動向について」](https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m/syphilis-trend.html) https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m/syphilis-trend.html

★2024年のデータは、2024年1月1日から6月30日までを集計した速報値です。

さいたま市健康科学研究センター (さいたま市感染症情報センター) TEL: 048-840-2250 FAX: 048-840-2267